

日本戦歿学生の手記 きけ、わだつみの声 (1950)

メディア 映画
ジャンル 戦争 ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 109分
初公開日 1950/06/15
公開情報 東京映画配給

【解説】

戦没学徒兵の手記を集めた『はるかなる山河に一東大戦歿学生の手記』とその続編『きけわだつみのこえー日本戦歿学生の手記』をヒントに製作された、戦後初の戦争映画。「こんな女に誰がした」の脚本を共同で執筆した舟橋和郎と八木保太郎が再びコンビを組み、舟橋が脚本を書き、八木が全体の構成を担当した。監督は関川秀雄、音楽は伊福部昭。

第二次世界大戦末期のビルマ。牧見習士官はかつて大学の恩師だった大木二等兵と再会を果たした。退却命令を受けた部隊は、重病者や負傷者を置き去りにして移動を開始。残された傷病兵たちは次々に自決していき、敵軍の集中砲火を浴びた部隊からは少佐や中尉が逃げ出してしまう。戦火がやまない中、牧は大木から「最後の授業」を受けるのだった。

【クレジット】

監督	関川秀雄	
製作	マキノ満男	
企画	坪井與	
構成	八木保太郎	
脚本	舟橋和郎	
撮影	大塚新吉	
美術	桂長四郎	
編集	宮本信太郎	
音楽	伊福部昭	
演奏	中沢寿士とシンフォニックス・ジャズ・オーケストラ	
助監督	小沢忠弘	
出演	伊豆肇	青地軍曹
	原保美	岸野中尉
	河野秋武	河西一等兵
	信欣三	大木二等兵
	杉村春子	箕田の母
	英百合子	河西の母
	沼田曜一	牧見習士官
	上代勇吉	柴山少佐
	林孝一	野々村中尉
	月京介	根岸兵長
	高原駿雄	衛生兵
	時田一男	馬取兵

花沢徳衛
大森義夫
稲垣昭三
河崎保
杉義一
佐野浅夫
増淵一夫
恩庄正一
菅沼正
小崎次郎
沢村契恵子
藤間広一

鶴田上等兵
大町伍長
箕田一等兵
秋山一等兵
木村見習士官
山田軍曹
飯島一等兵
千葉上等兵
隊長当番
伝令
矢野敦子
東大仏文科生